

第39期 決算公告

2024年6月24日

東京都品川区東五反田1-11-15

UT 東芝株式会社

代表取締役 芦田 浩人

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,851,082	流動負債	808,667
現金及び預金	806,656	買掛金	61,064
売掛金	1,010,872	リース債務	7,556
立替金	10	未払金	143,696
未収入金	17,893	未払費用	305,308
仕掛品	1,981	未払法人税等	10,198
原材料及び貯蔵品	884	未払消費税	78,748
前払勘定	6,075	前受金	26
預け金	6,706	預り金	21,108
固定資産	233,411	賞与引当金	180,961
有形固定資産	28,606	固定債務	339,460
建物付属設備	13,671	リース債務(長期)	6,123
工具器具備品	3,222	資産除去債務	12,011
リース資産	11,713	退職給付引当金	321,326
無形固定資産	12,477	負債合計	1,148,128
ソフトウェア	5,767	純資産の部	
ソフトウェア仮勘定	6,710	株主資本	936,365
投資その他の資産	192,328	資本金	90,000
長期未収入金	10,930	資本剰余金	20,000
差入保証金	4,572	その他資本剰余金	20,000
その他投資資産	4,000	利益剰余金	826,365
貸倒引当金(長期)	△900	利益準備金	22,500
長期繰延税金資産	173,724	その他利益剰余金	803,865
資産合計	2,084,494	純資産合計	936,365
		負債及び純資産合計	2,084,494

(注)1. 当期純利益 240,294千円

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 仕掛品 …………… 個別法による原価法を採用しております。
(貸借差対照表は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- ② 原材料・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 …………… 定額法を採用しております。
(リース資産を除く)
- ② リース資産…………… 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。
- ③ 無形固定資産…………… 定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 …………… ゴルフ会員権の実質価格の著しい下落に伴う回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金…………… 従業員の賞与の支給に備えるため、当期における支給見込額に基づき計上しております。
- ③ 退職給付引当金……… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理は、税抜方式により処理しております。

以上